

14. 教育政策検討委員会^{*1}

北村 聖^{*2} (国際医療福祉大学医学部)

教育政策検討委員会は行政を始め、医学教育に関わる団体などに提言をしたり、意見を述べたりする目的で設置された。

政策課題としては、医学教育のすべての過程が対象にはなる。「医師の需給と医学部定員」「入学試験」「コア・カリキュラム」「医学教育の国際基準による認証」「共用試験」「臨床実習」「実習後OSCEと卒業試験」「国家試験」「臨床研修」「専門医制度」「医師の働き方改革」などが最近のトピックスと考えられる。これらのほとんどが、医学教育学会の既存の委員会で所掌している。また、これらのことを議論する国や自治体、公益法人・財団などの委員会などには医学教育学会の理事・評議員が入っていることも多く、公式、非公式に政策課題に医学教育者としての意見を伝える

ことができている。

一方、学会の方も必ずしも意見は一つではない。医学部関係者のみならず、病院関係の医学教育者も多く、それぞれの立場で医学教育政策に対する意見が異なることも多い。もちろん個人としての意見も多様であり、学会としてまとまった行動を必要とする場面は幸いにも少ない。

いろいろな課題はあるものの、広く医療政策が議論されているときに、経済的観点や政策的観点からのみでなく、必要ならば教育的観点から意見を述べる準備を常にしておく必要があると考える。

委員：鈴木康之，福島統，小西靖彦，アドバイザー：伴信太郎，木下牧子

^{*1} Education Policy Committee

^{*2} Kiyoshi Kitamura